

<h1>ガイド</h1>	<h2>日本の近世城郭群という構想</h2>
--------------	------------------------

1. 姫路城に彦根城・松本城・犬山城を併せると以下のように近世城郭の特徴をあわせもつ遺産となり世界の城郭と比肩しうる普遍的な価値が顕著になると考えられる。

<p>松本城天守 文禄2年から3年にかけて創建</p> <p style="text-align: center;">梯郭式+輪郭式平城</p> <p style="text-align: right;">五重六階の天守</p> <p style="text-align: right;">層塔型天守</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 戦国末期戦略的拠点としての五重六階の天守（黒漆塗りの下見板が特徴） 2 軟弱地盤に築城技術を結集して造られた天守（筏地形・土台支持柱） 3 鉄砲戦にそなえた戦略的な天守に泰平の世の櫓が複合した天守 4 創建時は徳川家康を監視する秀吉側の城 5 大名文化を感じさせる月見櫓が附属する
--



<p>姫路城天守 慶長14年竣工</p> <p style="text-align: center;">渦郭式平山城 五重六階地下一階</p> <p style="text-align: center;">望楼型天守 (二本の心柱)</p> <p>慶長期の近世城郭最盛期の白亜の完成度の高い城郭</p> <p>西国大名を牽制するために造られた徳川方の城</p> <p>西の丸は元和4年に竣工</p>

<p>彦根城天守 慶長11年竣工</p> <p style="text-align: center;">連郭式平山城 三重三階</p> <p style="text-align: center;">望楼型天守 徳川方の城</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中世山城に用いられた五条の堅堀（空堀）がある 2 書院・能舞台・茶室・下屋敷 大名庭園等大名文化を伝える遺構がある（玄宮園・楽々亭） 3 重臣屋敷、長屋門や我が国唯一の厩が残されている。 4 琵琶湖の水運・中山道・北国街道など交通の要衝に造られた 5 城下町がの遺構が残されている
--



<p>犬山城天守 解体修理報告書によれば一・二階は天文初年、三・四階は慶長5年、破風高欄は元和6年 ※一・二階も慶長6年とする説有力</p> <p style="text-align: center;">連郭式平山城 三重四階地下二階 望楼型天守</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 尾張の北限を守り、木曾川の水運を掌握する役割を持つ徳川方の城 2 天守が年代を追って上部に増築され、1階は城主の居住部分を持つ 3 城郭と一体をなす城下町が比較的良好に保存されている。

2 犬山城について

犬山城は旧城主成瀬家のものであったが、平成16年4月犬山市との協議により「財団法人犬山城白帝文庫」の所有となった。天守が国宝に指定されているだけで天守のある城山一帯は国指定の史跡指定を受けていない。従って、犬山市は昨年城山の測量を行った。今後、城山の遺跡発掘整備を進め、第一段階として国史跡指定を目指す。天守が私有であったので城郭整備が遅れており整備計画策定等が急務である。

3 丸岡城について

通説では、犬山城の解体修理の結果一・二階が造られたのが天文初年あるいは最近では慶長6年とする説が出たことにより、丸岡城天守が最古の天守遺構であるとされている。

福井県坂井郡丸岡町にある丸岡城は、柴田勝豊(柴田勝家の甥)によって天正4年(1576)に創建されたと伝えられている。この史料的根拠は「柴田勝家公始末記」に見える「勝豊、近江長浜および越前坂井郡丸岡城主八万石、丸岡城は天正四年丙子年これをきずく。霞城という」とあるのを根拠としているがこの時、天守が建てられていたかは書かれていない。



丸岡城

城とは広がりをもった軍事拠点であって、天守が創建されたと記されていないことから天守創建年代は確定していないのである。

また最上階が四間×三間と正方形でないことや、基準とする柱間が六尺三寸(一間)となっていることから慶長期(1596～1615年)以降の天守の形式を持ち合わせている点に注目し創建年を本多氏入城後(慶長18年)とする説が有力である。

昭和23年6月28日、福井地震によって倒壊してしまった。現在の天守は昭和26年から30年に掛けて復旧再建されたものである。可能な限り古材を再利用して倒壊前の調査に基づいて復元されたといわれている。

このよう事実に基づいて「松本城天守」は、現存十二城の天守のうち、最古とって良いと考えている。それは、通説を認めたとしても一・二階が古いからといって天守全体を最古の天守といえるのか。自然災害で崩壊し、再建した天守を最古といえるのか、ということである。石川氏によって創建された松本城天守3棟は、地震等の天災をくぐり抜け、五重六階の天守が一度に建設されたという点で**完全性が高い天守**ということができると思われる。(松本城天守は「松本城築城年代懇談会」により平成2年文禄2～3(1593～94)年とされた)

4 今後の研究の方向

当面、国宝4城の研究を深めていく過程で世界の城や城塞都市と比較したとき、日本の天守、城下町はどのような顕著な普遍的価値があるのかを明らかにすることが必要である。